

# 平成27年度予算案について

# 平成27年度沖縄振興予算（案）について

内閣府沖縄担当部局

## 平成27年度沖縄振興予算（案） 3,340億円

（復興特会（15億円）を含む）

※平成26年度予算 3,501億円

※対前年度比 △162億円、△4.6%

※（ ）内は前年度予算

### 沖縄振興一括交付金

沖縄の実情に即してよりの確かつ効果的に施策を展開するため、沖縄振興に資する事業を県が自主的な選択に基づいて実施。

**1,618億円**（1,759億円）

沖縄振興特別推進交付金（ソフト）  
806億円（826億円）

沖縄振興公共投資交付金（ハード）  
811億円（932億円）

### 那覇空港滑走路増設事業

那覇空港滑走路増設事業は、東アジアの中心に位置する沖縄の優位性・潜在力を生かすために必要不可欠なインフラづくりであり、「強く自立した沖縄」の実現に向けた起爆剤の役割を担う。

**330億円**（330億円）

※平成26年1月着工、平成31年末までに工事完了

### 沖縄科学技術大学院大学

世界最高水準の教育・研究を行い、イノベーションの国際的拠点となるため、新規教員の採用や新たな研究棟の設計などOISTの規模拡充に向けた取組を支援するとともに、OIST等を核としたグローバルな知的・産業クラスターの形成を推進。

**167億円**（198億円）

### その他の主な事項

**公共事業関係費等**：小禄道路、那覇港・石垣港における旅客船ターミナル、那覇空港など産業・観光の発展を支える道路や港湾、空港、農林水産業振興のために必要な生産基盤などの社会資本の整備、学校施設の耐震化や災害に強い県土づくりなどを実施するため、国直轄事業及び地方公共団体等への補助事業に係る公共事業関係費等を計上。

**1,424億円** ※那覇空港滑走路増設事業、復興特会を含む（1,423億円）

**北部振興事業**：県土の均衡ある発展を図るため、北部地域の連携促進と自立的発展の条件整備として、産業振興や定住条件の整備等を行う北部振興事業を実施。**51億円**（51億円）

**鉄軌道等導入課題詳細調査**：鉄軌道等に関し、これまでの調査で抽出された課題を踏まえ、観光需要や県民需要を精査するとともに、まちづくりや制度面などに関して、沖縄県と連携しつつ、詳細に調査を行う。

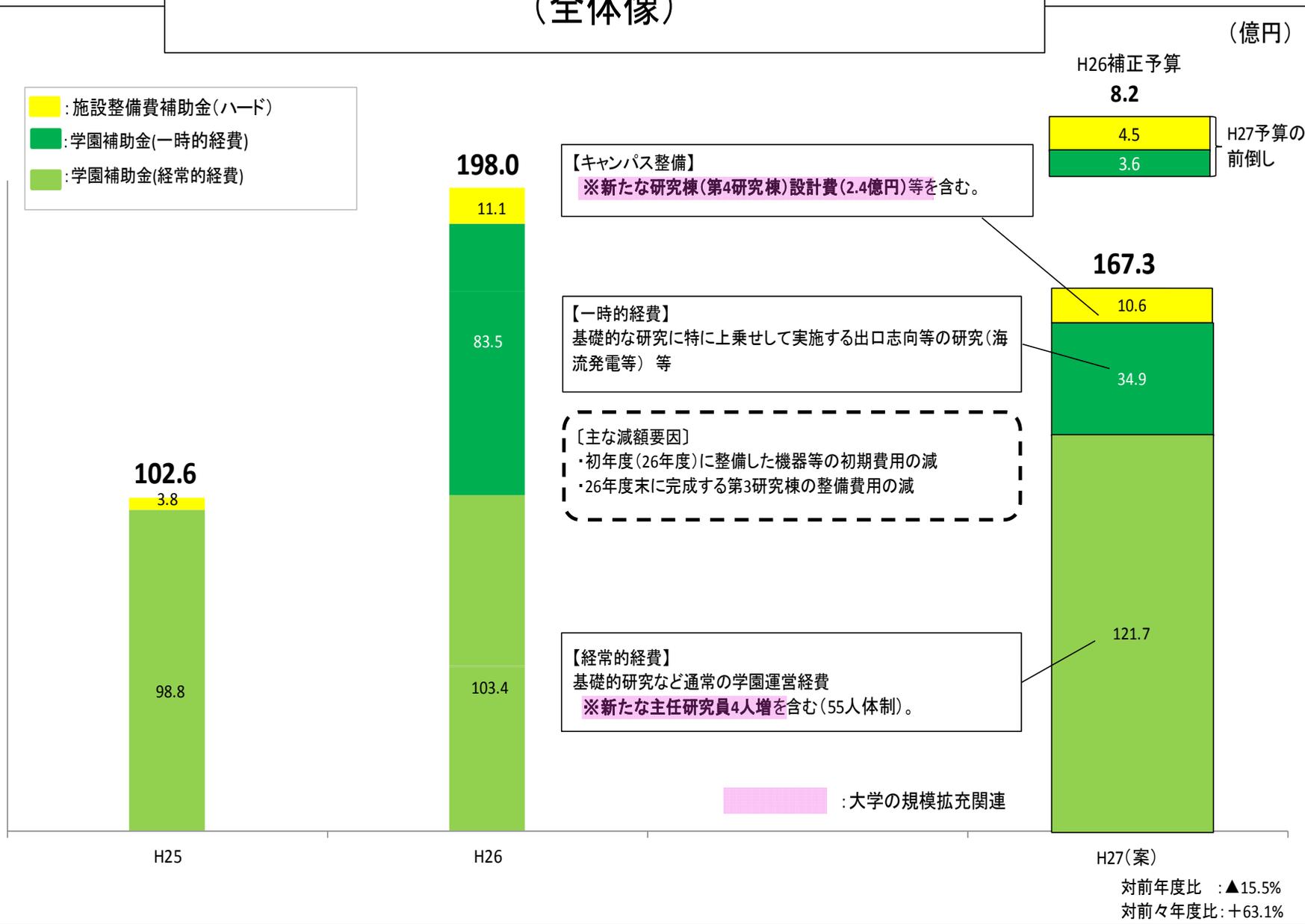
**2.0億円**（2.0億円）

**駐留軍用地跡地利用の推進**：平成26年度末に返還予定の西普天間住宅地区における国際医療拠点形成に向けた取組を始めとする駐留軍用地の跡地利用の推進を図る。**3.6億円**（0.8億円）

**国際会議の開催**：沖縄において国際会議を開催するための経費。**3.5億円**（新規）

# 沖縄科学技術大学院大学 予算案 (全体像)

- : 施設整備費補助金(ハード)
- : 学園補助金(一時的経費)
- : 学園補助金(経常的経費)



## 沖縄科学技術大学院大学学園補助金における経常的経費

H26 : 103.4億円  
H27 : 121.7億円

沖縄科学技術大学院大学における基礎的な研究の実施など、学園の運営に必要な経費  
平成27年度予算(案)においては、「規模拡充」に向けて重要な一歩を踏み出すための経費を計上

### 概要

○人件費(58.1億円)(5.1億円増):主任研究員(PI)、研究者、事務職員等の人件費

【主な項目】

新たな主任研究員の増員(4名) 約44百万円

新規ユニット(4ユニット)の研究員の増員(12名) 約62百万円

事務職員等の増員(38名) 約161百万円

○機器購入費(9.0億円)(8.4億円増\*):教育研究の実施に必要な研究機器等の購入経費

【主な項目】

学際的な研究を実施するための共有研究機器の購入 約241百万円

研究機器のリース 約445百万円

\* H26は、共有研究機器購入費を要望枠(経常的経費とは別枠)で計上したため、単純な比較はできない。

○運営費(54.6億円)(4.6億円増):PIのユニット運営に必要な試薬等の購入経費や光熱水道費など  
研究を実施するために必要なその他の経費

【主な項目】

新規研究ユニットの運営費(4ユニット分) 約69百万円

外部評価を実施するための経費 約64百万円

【参考】PI 1人あたりの研究費(経常的経費)

|                 | H22   | H23  | H24  | H25  | H26    | H27   |
|-----------------|-------|------|------|------|--------|-------|
| 経常的経費(億円) (A)   | 59.9  | 84.8 | 84.3 | 98.8 | 103.4  | 121.7 |
| PI数(予算上)(人) (B) | 23.25 | 34.5 | 51   | 51   | 51     | 55    |
| A/B(億円)         | 2.58  | 2.46 | 1.65 | 1.94 | ※ 2.03 | 2.21  |

※ H26は、共有研究機器購入費を要望枠(経常的経費とは別枠)で計上した。これを仮に経常的経費に算入すると「2.32」億円となる。

注)H22は運営費交付金(OISTの前身の独立行政法人)、H24以降は学園補助金、H23は運営費交付金と学園補助金の合計額。

## 沖縄科学技術大学院大学学園補助金における一時的な経費

H26 : 83.5億円  
H27 : 34.9億円

### 基礎的研究に特に上乗せして実施する出口志向の研究などに必要な経費

#### OISTにおける知的・産業クラスター形成推進経費(12.3億円)

知的・産業クラスター形成に向けた関連研究の実施(9.0億円)

継続(2年目)

##### 海洋(2.9億円)

- ・海洋環境観測装置の拡充
- ・サンゴを中心とした生物共生や環境応答に関するゲノム研究

##### エネルギー(0.9億円)

- ・沖縄近海の黒潮を活用した海流発電の開発
- ・安定的・効率的な分散電力配電システムの開発等
- ・低コスト・高効率の有機太陽電池の開発

##### 環境・バイオ(1.2億円)

- ・沖縄の生物多様性に着目した広域環境観測システムの整備
- ・高スループット・サンプル解析技術の開発

##### 先端医療(2.4億円)

- ・先進医療技術開発分野における物理的研究の推進
- ・BNCT(ホウ素中性子捕捉治療)の開発及び確立

次世代DNAシーケンサー等の最先端研究機器整備等(1.7億円)

企業及び他の研究機関との共同研究、事業化の推進(3.3億円)

・国際的なワークショップ開催等

#### 第3研究棟の供用本格化に伴う設備等整備(22.6億円)

今年度中に供用開始予定の第3研究棟が平成27年度から本格的に利用されることに伴い必要となる設備等の整備

##### 【主な内容】

- ・第3研究棟に整備される、知的・産業クラスター推進のためのエリアの機器
- ・第3研究棟の整備に伴い必要となる、既存施設も含めたネットワーク環境の整備 等

H26補正予算で  
先行実施

#### H26補正予算(3.6億円)

- ・R&Dに資する研究機器
- ・臨海実験施設の設備

## 沖縄科学技術大学院大学施設整備費補助金

(H26 : 11.1億円)  
(H27 : 10.6億円)

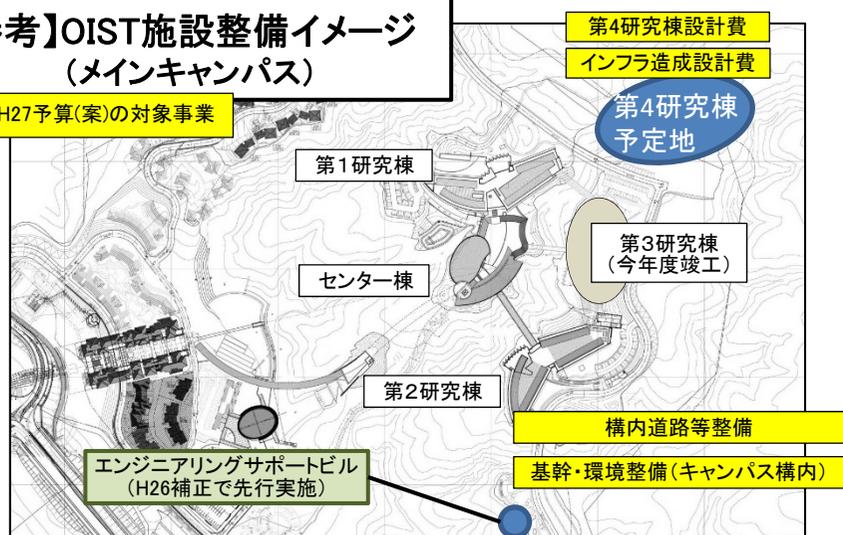
沖縄科学技術大学院大学における必要な施設整備に要する経費  
平成27年度予算(案)においては、「規模拡充」に向けた第4研究棟の設計費を計上

### 概要

- 第4研究棟設計費(2.4億円)
- キャンパス拡充に係るインフラ造成設計費(1.5億円)
- 臨海実験施設取水施設(2.2億円)  
国際的な海洋研究拠点として整備する臨海実験施設に附帯するポンプ施設
- 構内道路等整備(2.5億円)  
キャンパス構内の安全性を向上させるための構内道路等の整備
- 基幹・環境整備(1.9億円)  
キャンパス構内の法面補強、緑化・歩道等の整備

### 【参考】OIST施設整備イメージ (メインキャンパス)

※ H27予算(案)の対象事業



H26補正予算で  
先行実施

### H26補正予算(4.5億円)

- ・エンジニアリングサポートビル  
研究実験機器の改善工作等の作業を行う工作室や倉庫等を研究棟から独立して整備。